

2026年2月2日付 鋼構造ジャーナル

広島県鉄構工業会

約60人で新年の門出祝う

「新しい技術の導入を」

山本理事長



広島県鉄構工業会（理事長＝山本泰徳・ステントス社長）は1月23日、広島市東区のシェラトングランドホテルで新年互礼会を開催。組合員のほか、広島県土木建築局の吉田勝則建築技術担当部長や日本建築学会・中国支部の田中貴宏支部長

廣島工業大学の清水斉教授、組合顧問弁護士の久保豊年氏ら約60人が出席、新年の門出を祝つた。

(広島大学教授)、日本建
築構造技術者協会・中国支
部の近松英樹支部長(カナ
ミツヨシヒロキ)、大

生き残りには必要。加えて、労働環境の変化に對して作業を効率化していくことも求められる」とし、統いて、吉田担当部長は①労働環境

（価）――などの取り組みを説明し、「皆さんが高い度な経験を生かし、業界が発展すること、そして行政への協力を願う」とした。その



約60人が参集した新年互礼会